

秋まき小麦なまぐさ黒穂病の防除

は種後降雨が多く、葉数の増加が進んでいます。

気温やほ場の土壌水分にもよりますが、は種から10日～14日ほどで2葉目となります。

防除時期は小麦1～3葉期ですので防除時期を失しないよう注意しましょう。

なまぐさ黒穂病登録薬剤は下記の薬剤を使用します

薬剤名	使用倍率	散布水量	散布回数
チルト乳剤 25	750 倍	60 ～ 150L/10a	2 回以内(根雪前)

*チルト乳剤は根雪前散布で雪腐病にも効果がありますが、防除時期が違いため、なまぐさ黒

表1 主な雪腐病防除薬剤の菌種別効果と残効性(いずれも根雪直前散布が最も効果的)

		こう 紅 雪	しよく 色 黒 菌	こくよく 黒 核 病	しょうりゅう 小 粒 病	かつしよく 褐色 核 病	しょうりゅう 小 粒 病	たい 大 核 病	りゅう 粒 核 病	かつ 褐 雪 腐 病	しよく 色 黒 穂 病	無人へり 登 録
チルト乳剤25 (プロピコナゾール)	菌種別効果	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	有
モンカットペフランフロアブル (フルトラニル・イミノクタジン酢酸塩)	菌種別効果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	有
	残効性評価			積算降水量40mm 又は日最大降水量 15mm程度								
フロンサイドSC (フルアジナム)	菌種別効果	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	-
	残効性評価			積算降水量120mm 又は日最大降水 量65mm	積算降水量 150mm	積算降水量120mm 又は日最大降水 量65mm						
ペフラン液剤25 (イミノクタジン酢酸塩)	菌種別効果	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	×	-
シルバキュアフロアブル (テブコナゾール) ※2	菌種別効果	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	有
	残効性評価			積算降水量100mm 又は日最大降水 量40mm	積算降水量 85mm							
ランマンフロアブル (シアゾファミド)	菌種別効果	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	有
	残効性評価									積算降水量 150mm		

※1 残効性評価は、薬剤の効果が持続する散布後根雪までの降水量

※2 シルバキュアを散布する場合は褐色雪腐病が多発することがあるので、ランマンの併用を検討しましょう

穂病との同時防除は困難です。

近年秋期の天候が不安定で防除時期を失する例がありますので、上記表を参考に、今のうちからブームスプレーヤー使用か、へり等による防除委託を行うか防除計画を立てておきましょう。